

飛島の冬の集まりとイベント

2月28日、とびしま総合センターには多くの島民が集まり、にぎやかな時間を過ごしました。

この日は、防災情報交換会や輪投げ大会などが開催され、参加者は笑顔で交流を楽しみました。センター職員も時折サポートをしながら、一緒にイベントを楽しむ姿が見られました。

→ 防災情報交換会の様子



2月は船の出航が限られ、島外へ出る機会も少ない時期ですが、こうした島内イベントが定期的に行われることで、島での暮らしに彩りが加わります。



↑ ガラポン抽選会の様子 ↓



↑ 輪投げ大会の様子

Tabishima
協力隊通信

令和7年

3月

構成・文責：

飛島地区地域おこし協力隊粕谷玲緒
とびしま総合センター TEL 95-2001



協力隊通信 最終号に寄せて

このたび、3月末をもって協力隊としての活動を終えることとなりました。あっという間の15カ月間でしたが、飛島での生活は本当にかげがえのないものでした。最初は右も左もわからない状態でしたが、島の皆さんに助けられ、少しずつ飛島の暮らしに馴染んでいくことができました。

振り返れば、12月の大雪、能登半島地震の影響、そして月に4日しか船が出なかった日々もありました。離島ならではの厳しい環境を目の当たりにしました。それでも、この特別な環境の中での生活は、私にとって大きな学びであり、貴重な経験となりました。

島のイベント行事など、さまざまな活動を通じて飛島をより深く知ることができたのも、大きな喜びです。島民の皆さんには温かく迎えていただき、たくさんのことを教わりました。しかし、その恩返しを十分にできなかったことは、心残りでもあり、自分の力不足を痛感しています。

それでも、飛島での時間は私の人生にとって大切な財産となりました。ここでの経験を糧に、次のステージへ進んでいきたいと思えます。

15カ月間、本当にありがとうございました！またどこかでお会いできる日を楽しみにしています。